

議会だより

改修した議場
(関連記事P.16)



大町議会
ホームページ

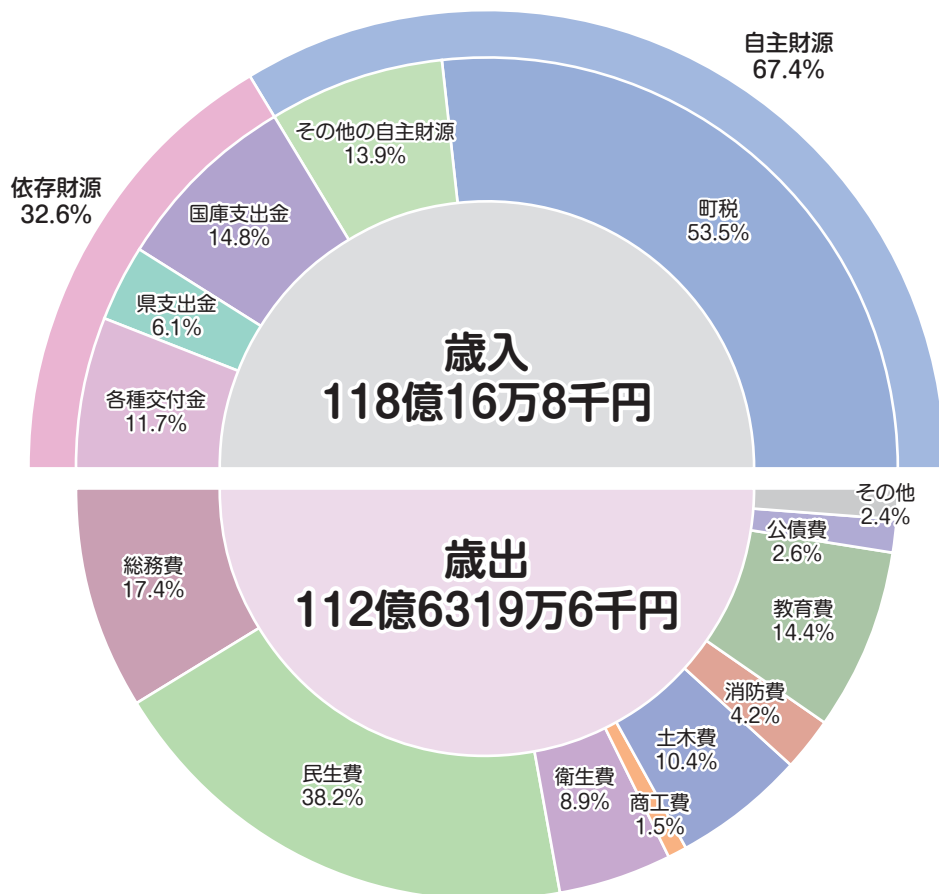
No.250

令和8年10月23日

発行：愛知県大町議会

大口町は どう立ち向かったか

上昇する中、住民サービスの水準を維持できたのか



令和7年度決算を認定

9月定例会では、令和7年度決算について、予算が適正かつ効率的に執行されたかを確認するとともに、物価高騰が続く中、町民の暮らしや健康、子育て、働く環境などを支える取組がどのように進められたのか、その効果や今後の課題について検証しました。

！数字で見る👁️👁️ 大口町の主な財政指標

- ▶ 財政力指数 1.23 (前年比0.07ポイントマイナス)
財政力を判断する指標でこの指数が1を超えるほど財政に余裕があるとされる。
- ▶ 経常収支比率 83.4% (前年比5.8ポイントアップ)
財政構造の弾力性を判断する指標で、高いほど財政が硬直化していることを表す。
直近の全国平均は88.8%で、前年と比較し新たな事業に充てられる財源の余裕が小さくなっている。

- ▶ 町税…増加 (前年比1.8% 1億1302万円 増)
企業誘致などにより固定資産税が前年度比2.2%増加し、町税全体を下支えた。一方、町民税は微増にとどまり、中でも法人町民税は前年度比15.2%の大幅な減少となった。
物価や原材料価格、人件費の上昇など企業を取り巻く厳しい経営環境が続く中、法人町民税の大幅な落ち込みは、今後の税収を見通す上でも注視する必要がある。

- ▶ まちの **貯金** (基金残高R8.3末現在)

56億7723万円

(R7.3末より 1億1655万円増)

町民1人あたり

23万7164円

(R8.3末現在 23,938人)



- ▶ まちの **借金** (地方債残高R8.3末現在)

25億390万円

(R7.3末より 2億6698万円減)

町民1人あたり

10万4599円

(R8.3末現在 23,938人)





続く物価高

物価高で行政コストも

！ 令和7年度の主な事業ピックアップ👁👁



暮らしを守る『物価高騰対応重点支援事業』

物価高騰が続く中、国の交付金等を活用し、給付金の支給、水道基本料金の減免、子育て世帯への大口町産米の支給、プレミアム商品券事業など、生活者や事業者を支える幅広い物価高騰対策を実施した。

- ◎主な事業…定額減税不足額給付金給付事業 7,055万円
非課税世帯物価高騰対応重点支援給付金給付事業 4,158万円
- 水道基本料金減免事業 3,467万円
大口町産米支給事業 593万円
プレミアム商品券事業 976万円



南児童クラブ

子育てを支える『児童クラブ運営事業』

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学1年生から6年生までの児童に、授業終了後等の遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業。
令和7年度は、南小学校区の利用者数増加への対応と児童センター機能への圧迫解消のため、新たなクラブの建設に着手し、令和8年2月に完成した。

- ◎主な事業…南児童クラブ建設費事業 2億7751万円



健康を守る『ワクチン接種事業』

感染症の発症や重症化を予防し、町民の健康を守るため、各種予防接種を実施。令和7年度からは、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、おたふくかぜワクチン接種費の一部助成を開始し、予防接種を受けやすい環境づくりに取り組んだ。

- ◎主な事業…おたふくかぜワクチン接種(R7新規) 34万円
帯状疱疹ワクチン接種 1,140万円
インフルエンザ予防接種 1,232万円



働く環境を守る『工場等遮熱促進事業』

夏の厳しい暑さによる工場等の作業環境の悪化を軽減するため、屋根や外壁などへの遮熱対策に要する費用の一部を補助。働く人の安全で快適な職場環境づくりと、事業者の負担軽減を図った。

- ◎主な事業…工場等遮熱促進事業(R7新規) 216万円

！ 議会はここに注目👁👁

▶ 必要な支援を見極め、限られた財源を活用して施策を講じた

物価高騰が長期化し、町民生活への影響が続く中、令和7年度は、国の交付金等を活用した物価高騰対策をはじめ、子育て、健康、福祉など、町民の暮らしを支えるさまざまな事業が実施された。
こうした社会情勢の変化に対し、町民の暮らしを守るため、必要な支援を見極め、限られた財源を活用して施策を講じたことを評価する。
今後も、社会情勢や町民ニーズの変化を捉え、必要な支援を必要な人へ届け、町民が安心して暮らし続けられるまちづくりを進めることを求める。

議案質疑

本会議及び総務建設・文教福祉各常任委員会での内容です



町民のみなさんからの税金が適正に、有効に使われるのかを問いました

条例改正

財政状況の公表

問 これまでの年2回の公表を年1回にするとのことだが、その理由は。また、これまで5月に公表していた分はどのような形で公表する予定か。

答 今回の改正で年1回となる財政状況の公表について、年度の中間において実施するので、その後の予算執行に何らかの意見があれば反映することができると、国からの通達においても、1回とする場合は4月から9月までの財政状況を遅くとも12月までに公表することとされているため、改正することとした。

また、前年度の10月から3月までの財政状況については、決算の状況を端的にまとめる予定である。

認可地縁団体 印鑑登録及び証明

問 認可地縁団体の代表者等の住所取扱いを見直す上位法に関する引用条項の整理だが、その背景は。また、認可地縁団体の長所・短所は。

答 令和7年度の地方分権提案において、個人情報保護の観点から、代表者等の住所を告知することを廃止する旨の要望があり、これを受けて地方自治法が改正された。

認可を受けた際の長所としては、団体名義で資産の管理ができることや不動産を団体名義で登記ができること、また法人格を持つことで社会的信用の向上につながるなどなどが挙げられる。

一方で、年に一回、通常総会を行わなければならないといった規定もある。加えて、管理運営において、事業報告書や財産目録の作成等も必要となる。

補正予算

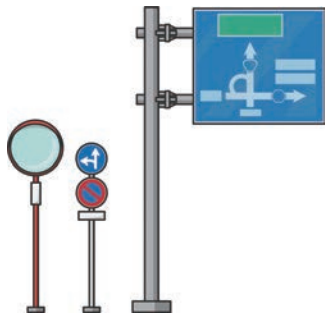
道路附属物点検作業

問 道路附属物点検作業155万円の減額について、道路附属物とはどのようなものを指すのか。また、減額による安全性への影響は。

答 道路附属物点検は、道路照明や道路標識などを点検する作業である。

令和7年度には、18か所の照明施設と、7か所の標識の点検を行った結果、腐食が3件認められたので、修繕を行っている。

今回の補正は、交付金の内示が要望に届かず、減額としたが、来年以降も引き続き予算を計上し、すべての場所を点検していく。



問 保育園施設管理事業における障がい者等用駐車区画設置業務112万2千円追加について、その内容は。

答 北保育園に2か所、西保育園に1か所、南保育園に1か所、思いやり駐車場を整備する。



思いやり駐車場マークの一例

問 社会体育振興事業の旅費4万8千円は。

答 大口町出身で現在は県外に住んでいる大学生が、愛知駅伝選手選考会にて、好成績を収め、選手となったことにより、今後の移動のための費用として計上するものである。

問 スポーツ新拠点整備事業におけるトップアスリートとの交流イベント開催50万円及びスポーツ教室備品20万円について、その内容は。

答 本町の子どもたちに、幼少期からの運動習慣を身に付けてもらいたいとの思いから、身近な目標として感じてもらえるアスリートとの交流を考えている。

現段階では、全国大会への出場を始め、各種スポーツの大会で優秀な成績を収めた近隣の大学生などとの交流をイメージしている。

また、スポーツ教室に關しては、子ども向けのランバイク教室の実施を予定しているので、そのレンタル料に充てたいと考えている。



決算認定

政策・計画・事業の推進



問 町営住宅使用料386万円について。入居状況は。また、緊急用の部屋は確保されているか。

答 小口住宅に25世帯、植松住宅に6世帯が入居されている。

なお小口住宅には、町民の緊急用として2部屋確保している。

問 屋外用LEDサイン設置工事費992万9千円について、情報発信の効果と見えた課題は。

答 LEDサインージでは、スポーツ大会で好成绩を収めた若者を紹介するほか、町からのお知らせや特殊詐欺予防などの啓発動画も流している。

活躍紹介の動画については、ご本人やご家族を中心に好評をいただいている一方で、夜間にまぶしいといった声や、虫が原因となる故障など、予想外の対応が必要となる事例もあった。

今後、効果を検証しながら、当面は現状の運用を続ける考えである。

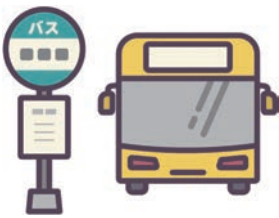
ている説明会で安全面に対する説明を行っているが、次年度以降の説明会では、特に夏場における活動のあり方を含めた安全対策について、丁寧に説明をしていきたい。

問 コミュニティバス運行事業について。標識のない生活道路の制限速度が、時速30kmに規制されたことに伴い、運行ダイヤを改正する自治体があるというが、本町においてその必要性は。

答 本町のコミュニティバスは、運行上にある生活道路のほとんどにおいて、もとより安全上に配慮した速度設計としているため、見直しの必要はなく、それに伴う遅延の声なども届いていない。

問 令和7年度の受診者は58人と、近年は横ばいの状況にある。事業開始時に比べて受診者数は一定数に留まっているが、壮年期に起こり得る生活習慣病予防に繋がる重要な取り組みであると考えており、今後も受診後のフォローアップや自己負担のあり方も含め、再考していきたい。

問 新規事業のおたふかせワクチン接種費用助成、この実施評価は。



健やかな暮らしの支援事業



答 当初予算の段階では344人の接種助成を見込んでいたが、実施件数は半数の172件であった。

接種費用助成には一定の効果があったと感じているが、新規事業ということもあり、周知不足であったという反省もある。今後は他の助成事業を含め、より一層の周知に努めていきたい。

問 中等度難聴者補聴器購入助成事業、手厚い制度だが、町内企業を含め、制度の周知方法は。

答 3月3日の耳の日に合わせ「広報おおぐち」3月号での特集等、啓発をしている。今後とも企業との意見交換などの機会を捉えて周知していく。

問 図書館利用。大活字本や読書補助具等、読書バリアフリーの取組に対する利用者の反応と今後の展開は。

答 大活字本は「目が疲れにくい」「文字が大きく読みやすい」、リーディングトラッカーは「1行に集中できる」など、利用者から好意的な声が聞かれている。

また、高齢者サロンでのPRを行うほか、関係機関と連携し、利用者に合った読書方法を案内していく。

問 ふれあいの森の利用状況と周辺住民からの苦情は。また、高台という立地を生かし、防災面も含めた施設の活用を検討して欲しい。

答 アスレチック場は遠足などの利用が増えている一方、キャンプ場は利用が減少している。なお、周辺から大きな苦情は寄せられていない。

学び・ふれあい・交流事業



議員名 議案など	山崎卓美	佐名かよ子	酒井一平	宮川基英	飯田正志	社本與七	松本佳子	江幡満世志	丹羽勉	仙田王一	藤田敏英	鈴木和江	江口昌史	大竹伸一	齊木一三	結 果
主な執行部提出議案																
令和8年度大口町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		可 決
令和8年度大口町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
令和7年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認 定
大口町財政状況の公表に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
大口町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
大口町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
大口町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決
大口町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可 決

委員会及び議員提出議案

議案の提出

議案には、町長が提出するものと、議員が提出するもの、委員会が提出するものがあります。
提出された議案は、本会議で内容や提案した理由について提出者から説明されます。

※【意見書とは】地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

議員提出議案第2号

国民健康保険の国庫負担の拡充及び財政基盤の強化を求める意見書提出について

議員提出議案第3号

学校給食費無償化の制度充実及び国の財政負担を求める意見書提出について

議員提出議案第4号

新たな定数改善計画の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書提出について

本議員提出議案は、議員全員の賛成をもって可決し、国に対し閉会日9月25日に提出しました。



▲詳しくはこちら

○全会一致で可決・採決した議案など

9月定例会…条例改正(5件)、令和8年度一般会計補正予算(1件)、令和8年度特別会計補正予算(4件)、令和8年度下水道事業会計補正予算(1件)、契約(1件)、同意案件(1件)、令和7年大口町歳入歳出決算認定(1件)、令和7年度大口町下水道事業会計認定(1件)、議員提出議案(3件)

請 願・陳 情 みなさんの声を慎重審議！ 議会の意思は

要望を町・県・国に伝える方法として「請願」「陳情」があります。みずからが町議会に提出し、これに対して議会は、採択・不採択等の意思表示をします。

●請 願 ※請願は、議員の紹介が必要

号	内 容	提出者	審査結果
1	「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	尾北地区教職員組合 執行委員長 磯部 健一 他 100名	採 択

請願内容(概略)

子どもたちの健やかな成長を実現するため、学校現場ではいじめ・不登校・特別支援など多くの課題に直面しており、一人ひとりへの適切な対応が急務である。令和10年度までの新定数改善計画で学級編制標準の引き下げや養護教諭の複数配置が進む一方、概算要求から大幅に縮減されており不十分である。少人数学級の拡充と次期定数改善計画の策定が不可欠である。また、三位一体改革で義務教育費国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたままで、自治体負担が増加している。教育の機会均等と水準確保のため、国庫負担率の2分の1への復元と十分な教育予算確保を強く要望する。

●陳 情 今回、提出はありませんでした。



説明します

みなさんからの請願・陳情は、本会議提出後、慎重に審査するため所管の委員会に付託・送付したのち、請願は本会議で審議を、陳情は委員会で審査をし、採決します。

結 果

- ①採 択…願意が妥当で実現性もあるなどの理由から、過半数の委員が判断したもの
- ②一部採択…願意の一部について妥当で実現性もあるなどの理由から、過半数の委員が判断したもの
- ③趣旨採択…願意は理解できるが実現性に乏しいときなど、採択には至らないものの趣旨には賛同できること
- ④不 採 択…願意どおり実現すべきものと過半数の委員が判断しなかったもの
- ⑤継続審査…引き続き審査をする必要があると判断されるもの
- ⑥聞き置く…聞いて心にとめるもの

上程する定例会	提出期限
令和8年 12月定例会	11月13日
令和9年 3月定例会	2月15日
令和9年 6月定例会	5月14日
令和9年 9月定例会	8月13日

※受付時間は9時00分～16時00分です。

☆請願・陳情
提出期限
請願・陳情の提出には締切日があります。
ご希望される方は、提出期限をご確認の上、役場3階議会事務局へご提出ください。



請願・陳情の審査結果はこちらからご覧いただけます

緊 急 要 望

保育園における給食の異物混入に関する緊急要望について

【要望書要約】

令和8年7月15日、大口町立北保育園において、園児、保育士等の給食に異物（ガラス片）が混入する事案が発生しました。

本事案は、各保育室で配膳を終え、給食を食べ始めたときに起こったもので、園児、保育士等の大事に至らなかったことは何よりも幸いでしたが、保育園に子どもを預ける保護者の皆さまの気持ちを考えたとき、本来、このような事案は決して起きてはならないものであります。つきましては、本議会は、下記の事項について万全の対応をいただきたく緊急に要望します。

記

- 1 給食に対する園児及び保護者の不安を解消し、安心を届けること。
- 2 給食の調理手順を定期的に検証し、必要に応じて見直すこと。
- 3 保育園間で問題点や改善事例を共有し、再発防止に繋げること。

以上、令和8年8月7日に正副議長から大口町長に提出しました。





町政を問う

9議員が質問

大口町
ホームページ
「一般質問」YouTube
チャンネル名
「大口町議会」

一般質問とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。各議員の質問は、YouTube動画でご視聴いただけます。

議員名(通告順)	質問事項	ページ
仙田 王一	1.自然災害と防災について	8
鈴木 和江	1.これからの自治会、区長の仕事について 2.8050問題への対応について 3.元気体操について	9
江口 昌史	1.孤独・孤立を防ぎ、誰もが地域とつながって暮らせるまちづくりについて	
佐名かよ子	1.災害関連死ゼロを目指した防災対策の強化について 2.学校および園所における紫外線対策と子どもの目の健康を守る取組について 3.集団がん検診の電子申請導入の成果と今後について 4.道路等における草木の適切な維持管理について	10
飯田 正志	1.学習等共同利用施設に防災倉庫設置について 2.本町の観光について 3.本町の耕作放棄地について	
宮川 基英	1.被害者支援体制の充実を 2.伝統継承のための取り組みを	11
社本 與七	1.交通安全対策の検証と今後について	
松本 佳子	1.どうする、これからの地域コミュニティ ー地域自治組織13年、その先へー	12
江幡満世志	1.学校給食を自校方式に転換せよ 2.町道をもっと頑丈に作ってほしい 3.コミュニティバス事業に対する展望を問う	

自然災害と防災

災害に備えて準備するポイントは
部長事前の行動確認と簡易トイレ備蓄

仙田 大雨、河川氾濫
による浸水害時の避難場
所と避難行動は。

度6弱が想定されており、
ライフラインが止まり避
難を余儀なくされること
が考えられ、発災から1

仙田 災害時には自助
の備えも大事、そのポイ
ントは。

地域協働部長 水害に関
する指定緊急避難場所は、

週間後の時点で約900
名の避難者を想定してい

地域協働部長 ライフラ
インの長期停止でトイレ

大口南小学校、大口北小
学校、大口中学校、健康
文化センター、中央公民
館、大口北防災センター

の6か所を指定しており、
避難行動については、判
定フローをハザードマッ
プに掲載している。また、

が使えず、住み慣れた自
宅で避難生活が送れなく
なることを防ぐため、水
や食糧の備蓄はもとより、

の6か所を指定しており、
避難行動については、判
定フローをハザードマッ
プに掲載している。また、

避難所へ行くことだけが
「避難」ではなく、自宅
の2階など垂直避難も選
択肢のひとつである。

仙田 ライフラインが
長期停止した場合の支援
体制は。

「避難」ではなく、自宅
の2階など垂直避難も選
択肢のひとつである。

地域協働部長 住民生活
維持を最優先に考え、関
係機関と連携し、ライフ

簡易トイレの備蓄を「1
日5回分×家族の人数×
3日分」を最低限として、
できれば7日分の用意を
推奨する。

仙田 南海トラフ地震
に対する被害想定と避難
所は。

地域協働部長 非常用発
電機等を活用し、生活環
境の確保に努める。在宅

避難者には、物資の配布
等の案内を防災無線や広
報車、あんしん安全メー
ル、LINE等で行う。

地域協働部長 愛知県の
被害想定では、本町の地
震規模は震度5強から震

避難者には、物資の配布
等の案内を防災無線や広
報車、あんしん安全メー
ル、LINE等で行う。

YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(仙田議員)

せん だ きみ かす
仙田王一 議員

8050問題への対応

80代親亡き後の子の生活は

部長 社会全体で取り組むべき課題です

鈴木 8050問題に

対する町の認識はどのようか。

健康福祉部長 80代の親が引きこもり状態等自立した生活を送ることが難しい50代の子を支えるため、経済的・精神的負担などから孤立や生活困難に陥りやすい社会問題で、親の死などで生活基盤を失うリスクが高いため、適切な支援が重要と考える。

鈴木 問題の早期発見、早期支援の取り組みはどのようなか。

健康福祉部長 家族がひきこもっていることを伏せたり、親が元気なうち

は生活に困らないことも多く、早期発見が難しい。日頃から見守りにご協力を頂いている民生委員、地域の皆さんから長寿ふくし課への一報をお願いしている。

鈴木 8050問題に関する相談や支援の実態状況はどのようなか。

健康福祉部長 地域包括支援センターへの相談時、病院での入退院時、その他訪問看護利用時等、様々な方面から情報提供の機会がある。高齢者の総

鈴木 高齢化が進む中

9060問題への移行、8050問題への増加も懸念される中、親無き後



すずき かず え
鈴木和江 議員

の支援体制の充実など、本町の将来的な考えはどうかか。

健康福祉部長 8050

のさらなる高齢化により、孤立死や生活破綻など深刻な事態となる可能性がある

ある為、支援体制の充実、急務である。親が倒れる等、現実には親亡き後の前に危機が訪れる。日常支援、金銭管理など、家族や親族が担ってきた課題に対応する仕組みづくりなどを喫緊の課題として検討を進める必要がある。

健康福祉部長 家族がひきこもっていることを伏せたり、親が元気なうち

は生活に困らないことも多く、早期発見が難しい。日頃から見守りにご協力を頂いている民生委員、地域の皆さんから長寿ふくし課への一報をお願いしている。

鈴木 8050問題に関する相談や支援の実態状況はどのようなか。

健康福祉部長 地域包括支援センターへの相談時、病院での入退院時、その他訪問看護利用時等、様々な方面から情報提供の機会がある。高齢者の総

鈴木 高齢化が進む中

9060問題への移行、8050問題への増加も懸念される中、親無き後



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(鈴木議員)

孤独・孤立を防ぐ取組

孤立しにくい地域づくりを

部長・参事 地域と行政の連携を進める

江口 孤独・孤立を本町はどう捉えているか。

健康福祉部長 孤独・孤立は人生のあらゆる段階で誰にでも生じ得るものである。単身世帯の増加や地域・家族とのつながりの希薄化により、潜在的なリスクは高まっている。支援に消極的な方や外部との接触に不安を感じる方は把握が難しく、特に20〜30代の若年層や、仕事中心の生活で地域や家庭とのつながりが薄れやすい40〜50代の中年層は、支援につなぐににくいと認識している。

江口 健康づくりと人とのつながりは。

健康福祉部長 健康づくり、居場所づくりなどに関わる中で住民の異変に気づき、行政担当課や関係機関へのつな

江口 地域の気づきを支援につなぐには。

地域協働部長 各地域に配置した生活支援コーディネーターが、見守りや健康づくり、居場所づくりなどに関わる中で住民の異変に気づき、行政担当課や関係機関へのつな

江口 健康づくりと人とのつながりは。

健康福祉部長 健康づくり、居場所づくりなどに関わる中で住民の異変に気づき、行政担当課や関係機関へのつな

江口 健康づくりと人とのつながりは。



え ぐち まさ し
江口昌史 議員

ぎ役となっている。各地域では「ながら見守り」も始まっており、実際に地域からの相談を長寿ふくし課へつないだ事例もある。

今後は地域自治組織が情報の結節点となり、地域の情報を集め、行政も情報を共有する体制づくりが必要と考えている。



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(江口議員)

道路等の草木、適切な維持管理

持続可能な維持管理体制を

部長 直営・委託、防草対策も検討

佐名 道路等の草刈りは、現在どのような体制で、何を優先して対応しているのか。

佐名 草刈りを進める上での課題と、将来を見据えた人員・実施体制をどのように考えているのか。

建設部長 道路は週1回、河川は月1回巡回し、通学路や交差点など、安全性が懸念される箇所を優先している。草刈りは会計年度任用職員4名を基本とし、大規模な場所などは業者に委託している。

今後4名1班を基本とし、作業班体制が維持できるように必要に応じて新たな会計年度任用職員を採用していく。

佐名 毎年繰り返し繁茂する箇所は、過去の対応履歴を翌年度の維持管理に生かしているのか。

建設部長 要望箇所や作業完了日を年度ごとに履歴管理し、毎年度対応となる箇所も把握しながら、計画的に草刈りを行っている。



繁茂している様子



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(佐名議員)



さな 佐名かよ子 議員

佐名 委託や防草対策も組み合わせ、持続可能な維持管理体制を進める考えは。

建設部長 昨年度は水路法面6箇所で張りコンクリートを実施し、草刈りの作業負担軽減にもつながっている。今後草刈りについては、直営と委託を見極め、費用対効果を踏まえた上で、水路の流水障害対策と併せた防草対策も検討し、適正な維持管理に努めていく。

学共施設等に防災倉庫設置

防災倉庫を設置する条件は

部長 地域避難所の要件を満たすこと

飯田 本町が定めている避難所は。

飯田 地区の学共施設等に防災倉庫を設置する場合の条件は。

地域協働部長 指定避難所は、町内3小学校(北小・西小・南小)、大口中学校、北保育園、健康文化センター、中央公民館、町民会館、さつきヶ丘防災センター、大口北防災センターの計10か所。うち、健康文化センターと中央公民館の2か所は、福祉避難所を兼ねている。また、特別養護老人ホーム御桜乃里、社会福祉法人軽費老人ホーム一期一会荘、社会福祉法人おぐち福祉会、介護老人保健施設さくら荘の4か所が、民間の福祉避難所として指定されている。



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(飯田議員)



いいだ まさし 飯田正志 議員

具体的には、避難所の開設や運営に関するマニュアルを作成し、災害発生時に、区が自主的に避難所を運営できる仕組みを整備することが必要である。

こうした条件を満たした学共施設や集会場については、必要に応じて防災倉庫の設置を検討していく。

被害者支援

犯罪被害者支援特化条例の制定を 部長特化条例整備の有無を検討する

宮川 自然災害によつて大きな被害にあったとき、行政による支援にはどのようなものがあるか。

宮川 交通事故により重篤な被害を被った人への支援には、どのようなものがあるか。

健康福祉部長 「災害弔慰金」、「災害障害見舞金」、「災害援護資金」、「生活福祉資金」、「被災者生活再建支援金」などの支援制度がある。その他にも、納税などの義務を一時的に果たすことができない被災者に対し、税についての期限の延長、徴収猶予及び減免等がある。



みやがわもとひで
宮川基英 議員

宮川 犯罪により被害を被った方への支援を手厚くするため、本町においても犯罪被害者支援条例を制定してどうかと考えるが、町の見解は。

地域協働部長 本町では「大口町民安全安心条例」に基づき、犯罪被害者への支援を実施しているが、現在、愛知県内では特化条例の整備を進めている状況であり、本町においても他の市町村の条例を参考に、現在の条例による定義の有用性を検証した上で、特化条例整備の有無を検討していく。



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(宮川議員)

交通安全対策の検証と今後

大口町版交通安全対策特区創設を 部長御供所地区を重点区域に

社本 御供所地区ゾーン30プラスの効果検証および公表方法は。

建設部長 ETC2.0プロ

ーブデータにより「交通ビックデータによる事前分析」のデータを用いて対策後の比較を行う。その後、検証結果を国土交通省のHPをはじめ、町のホームページでも公表を予定している。

社本 通学路交通安全プログラムの概要は。

生涯教育部長 学校・保護者・警察・道路管理者など関係機関が連携して通学路の危険箇所の把握から対策実施、そして対策後の効果検証まで、計画(Plan)→実行(Do)→検証(Check)→改善(Action)という

PDCAサイクルを継続的に繰り返すことで、通学路の安全性を継続的に向上させていくというものである。

社本 通学路交通安全プログラムの効果検証および公表は。

生涯教育部長 前年度に実施・検討した対策について、推進会議で進捗状況や実施状況を確認し、関係機関で情報共有を行っている。また、対策内容と実施状況を一覧表にまとめ、町ホームページで公表している。

社本 大口町版交通安全対策特区について町の見解は。

地域協働部長 「大口町



しゃもと よういち
社本與七 議員

版交通安全対策特区」の考え方は、関係部署や警察、道路管理者などが所管の垣根を越えて連携し、一定の区域で集中的に対策を行う点で、有効な考え方の一つと認識している。

現時点で直ちに制度を創設するものではないが、まずは御供所地区を交通安全対策の重点区域の一つとして捉え、必要な対策を総合的に検討していく。また、実施した対策の効果を検証・改善し、効果が確認された取組については、他の地域への展開も検討していく。



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(社本議員)

どうする 地域コミュニティ

地域自治組織13年、その先へ

部長 地域自治の新たな形を目指す

松本 これまでの地域自治組織の活動の中で、本町が成果として捉えている点、また、今後に向けて課題として認識している点は。

松本 今後の地域づくりにおいて、地域自治組織にどのような役割を期待しているのか。

地域協働部長 地域における「対話の土台」が生まれ、それぞれの地域が必要なものを主体的に選択し、実践してきた経験が、住民自治の力を高めたことを成果と捉えている。

地域協働部長 行政区や老人クラブ、NPO、地域の事業者など、多様な主体が連携する地域のプラットフォームとなり、住民が無理なく、自分の意思で地域に関われる「新たな受け皿」となることを期待している。町も行政自身の体制改革を含めて支援していく。

一方、少数の役員が協議・実働・事務局機能を抱え込むことによる負担や担い手不足が課題である。今後は、これらの機能を整理・分担し、多様な住民が関われる仕組みへ見直していく必要があると考えている。

松本 新たな国の制度である『指定地域共同活動団体制度』。この制度創設を一つの契機として、これまでの地域自治組織の取組を検証し、今後の地域自治のあり方について検討を進めていく考えは。



まつもと けいこ
松本佳子 議員



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(松本議員)

一般質問

学校給食を自校方式に転換せよ

顔の見える食育

部長 調整しながら進めていきたい

江幡 自校方式で給食を提供する犬山市について、そのメリットはどのように考えるか。

江幡 『顔の見える食育』ができるのはどの様なところか。

生涯教育部長 自校方式で提供しているメリットは、各学校に栄養教諭等と調理員がいて『顔の見える食育』ができると考えられる。

生涯教育部長 児童生徒がお昼を作っている人の顔や様子もわかり、また、昼の献立の香りも漂い給食を作ってくれている事が感じられるなど、給食を作っていた方がいい。食事の感謝の気持ちも育くまれる等のことを『顔の見える食育』と考えている。



江幡 学校給食は教育の一環である。給食センターについては、食育の観点から教育委員会が主体に進めるべきではないか。



え ば た み つ よ し
江幡満世志 議員



YouTube
動画

R8.09定例会一般質問(江幡議員)

生涯教育部長 学校給食に関連する公共用地の取得や建設は、学校給食センターを窓口としてはいるが町全体で取り組んでいく。

食育の観点からの指摘については、栄養教諭や調理員及び専門業者の取りまとめをしてから、教育委員会と町とで調整をしながら進めていきたい。

ふるさと納税
どの様な考えで取り組むのか
仙田王一議員の質問

ふるさと納税制度に係る寄附金額は前年度と比べて約528万円増加していますが、寄附金税額控除額も増加しており、その差は約▲4,468万円でありました。一方で、町内のぶどう園が新たに返礼品事業者として登録される等、本町のPR資源は着実に増加していると認識しています。今後も返礼品を通じて本町が広く認知されるよう取り組んでいきたいと考えています。

回答を受けて

返礼品の育成は、本町の活力の一助となりますが、一朝一夕に生まれるものでもありません。目指すまちづくりに向けた、(モノやコト)×アイデアにより、本町らしいPR資源の育成を進めてください。

質問者の満足度

がんばれ

1年前の一般質問 その後を
追跡!!



あれからどうなった?

令和7年9月定例会にて質問

外坪公園内トイレ
今後の整備計画は
藤田敏英議員の質問

公園長寿命化計画に基づいて、トイレの洋式化を進めている途中でしたが、外坪公園内トイレは早急に改善対応するべく、竹田公園で利用実績のある簡易ユニット式トイレを補正予算後、設置させていただきました。今後も公園規模や費用対効果を基に、ご地元のご意見を伺いながら、利用者にやさしいトイレとなるよう、進めてまいります。

回答を受けて

公園利用者には介助を必要とされる小さなお子さんや足腰に不安を抱え、杖を利用されている方もおられます。トイレ室内には手すり等の取り付けも必要です。次設置されるトイレは利用者に寄り添う『人に優しい』トイレとなることを強く望みます。

質問者の満足度

がっかり



今年も出展!

ふれあいまつり 2026

大町町議会ブース

日時 2026年 10月31日(土) 9:30~14:00

場所 大町町総合福祉会館 集会室

見て、話して、つながる大町の未来!

みんなの声で、もっと素敵なまちに!

アンケートは
・会場にて記入
・WEBで回答

粗品をプレゼント!
(なくなり次第終了)

みなさんの声を
住みよいまちづくり、
楽しいまちづくり、
議会活動に活かします

あなたのひらめきが、まちをもっと楽しくする!

常任委員会 活動報告

3つの常任委員会では、町政の課題解決に向けて調査・研究や意見交換、先進地視察などを行い、よりよいまちづくりに取り組んでいます。



1 総務建設常任委員会

防災・減災のまちづくりに向けて

活動内容

防災に関する意見交換会を開催しました。地域や専門の方々と、防災体制の強化や災害時の備え、避難所運営などについて意見交換を行い、課題の共有と今後の取組の方向性を確認しました。

主なテーマ

- ✓ 避難所運営体制の充実
- ✓ 地域防災力の向上
- ✓ 情報伝達・共有のあり方 など



まとめ

地域の声を直接伺うことで、災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた多くのヒントを得ることができました。今後も、調査・研究を重ね、実効性のある施策提案につなげていきます。



2 文教福祉常任委員会

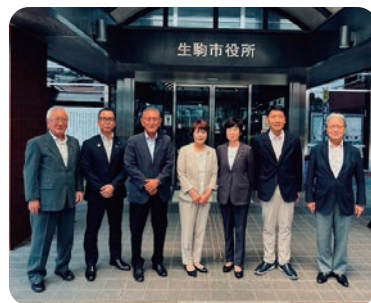
部活動の地域展開に向けて先進地を視察

活動内容

奈良県生駒市を訪問し、部活動の地域展開について視察・意見交換を行いました。地域の実情に応じた運営体制や指導者の確保、学校・地域との連携方法など、今後の本町の取組に生かすため、多くの知見を得ることができました。

主なテーマ

- ✓ 地域クラブ活動の運営体制
- ✓ 指導者の確保・育成の取組
- ✓ 学校・地域・行政の連携体制



まとめ

地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みづくりが、持続可能な部活動の力になると実感しました。本町の課題を整理し、子どもたちが安心して多様な活動に取り組める環境づくりを進めていきます。



3 議会広聴広報常任委員会

SNS活用と議会傍聴のあり方を学ぶ

活動内容

愛知県犬山市議会を訪問し、SNSを活用した情報発信の取組や、議会傍聴の工夫について視察・意見交換を行いました。議会の見える化や、住民に親しまれる議会運営について、多くのヒントを得ることができました。

主なテーマ

- ✓ SNSの運用方法と効果
- ✓ 議会傍聴の促進に向けた取組
- ✓ 情報発信の工夫と課題



まとめ

本町の情報発信や傍聴のあり方について、参考となる多くの取組を学ぶことができました。今後、より開かれた議会を目指し、検討を進めていきます。



今後も、3つの常任委員会が連携し、町民の皆さまの声を町政に届けてまいります。





「議員って何かはしてると思うけど、何をしているのかよくわからない」

そのようなお声をよく聞きます。「何を？」といわれると、一言では説明が難しいですが、その一部をお伝えできればと思います。

①



全国中学校ハンドボール大会
大口中学校女子ハンドボール部が全国大会に出場しました。

②



トレーニングセンター見学会
大口町働く世代の健康推進事業により、助成の対象となる大口町トレーニングセンターを見学しました。

③



敬老事業

ご長寿おめでとうございます。これからも、お元気でお過ごしください。

議員って何をしているの？

令和8年8月～令和8年10月の主な活動です

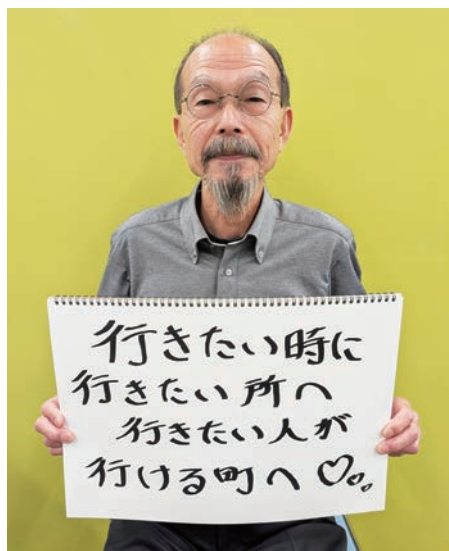
月日	本会議・委員会など	内容（特記事項）
8月	3日 文教福祉常任委員会視察	部活動の地域展開（奈良県生駒市）
	7日 全員協議会	緊急要望 ⇒P.7 参照
	17日 総務建設常任委員会意見交換会	大口町更生保護女性会等
	18日 全国中学校ハンドボール大会	応援（岡山県倉敷市） ①
	20日 文教福祉常任委員会トレーニングセンター見学会	②
	21日 議会広聴広報常任委員会	ふれあいまつり、議会だより250号内容検討
	22～23日 商工会夏のふれあいフェスティバル	来賓
	24日 議会運営委員会	
	25日 議会運営委員会 全員協議会 会派代表者会議	第5回定例会の進行、一般質問、請願
	26日 議会広聴広報常任委員会	議会だより250号内容検討
9月	1～25日 第5回 定例会	議案審議ほか ⇒P.2～12 参照
	1日 全員協議会	熊本地震に対する支援
	4日 議会運営委員会	
	5日 アジア競技大会聖火リレー	来賓
	7日 会派代表者会議	
	14日 総務建設常任委員会	委員会付託議案審査
	16日 文教福祉常任委員会、協議会	委員会付託議案審査、請願の審査
	18日 敬老事業	来賓 ③
	26日 やろ舞い大祭	来賓
	29日 全員協議会 会派代表者会議 議会運営委員会	
10月	1日 議会広聴広報常任委員会	議会だより250号校正
	4日 町民体育祭	来賓 参加
	7日 総務建設常任委員会視察	地域防災（航空自衛隊岐阜基地）
	8日 大口中学校体育大会	来賓
	議会広聴広報常任委員会 文教福祉常任委員会意見交換会	議会だより250号校正 あいうえOguchi
	9日 議会運営委員会視察	議会業務継続計画（静岡県焼津市）
	10日 保育園運動会	来賓
	14日 総務建設常任委員会協議会	
	16日 文教福祉常任委員会協議会	
	24日 大口南・北小学校運動会	来賓
	25日 伝統芸能発表会	来賓
	26日 保育園給食試食会 議会運営委員会	
	27日 議会広聴広報常任委員会	
	28日 全員協議会	
	31日 ふれあいまつり	ブース出展「議会アンケート」実施

一部事務組合や広域連合等の議員も務めており、定例会や臨時会に出席します。議長は、県町村議会議長会の研修や会議にも参加します。

まちかどインタビュー

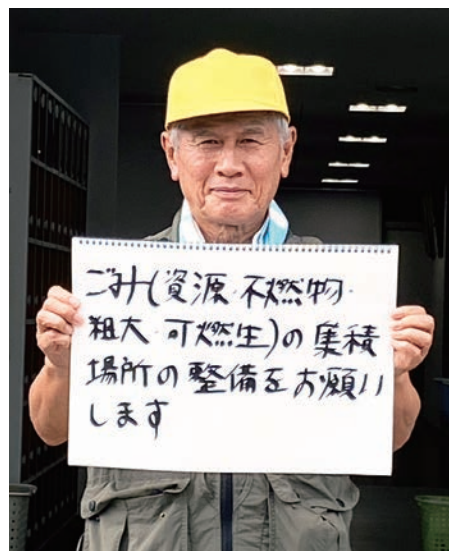
～大口町に期待することは？～

まちかどインタビューでは、毎号、住民の方から「大口町に期待すること」について、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



凄いな 素敵だな 嬉しいな 有難いな
夢かな だよな 違うよ やるじゃん
きっと きっと きっと ね 大口町♡

(下小口区在住 前田さん)



災害時、必ず直面するのが大量のごみ。いざという時に困らないよう、仮置場や処理体制など、今からできる備えをしっかりと進めてほしい。

(余野区在住 近藤さん)

寄付行為の禁止



議員はお金やお酒等の
寄付行為は禁止されています。
有権者が求めてもいけません。
ご理解をお願いいたします。

会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



12月定例会予定

- 11月30日(月) 開会・提案説明
- 12月 2日(水) 一般質問
- 3日(木) 一般質問
- 7日(月) 議案質疑
- 8日(火) 議案質疑・委員会付託
- 10日(木) 文教福祉常任委員会
- 14日(月) 総務建設常任委員会
- 18日(金) 討論・採決・閉会

※日程は、変更になる場合があります。

【今月の表紙】

より円滑な議会運営を目指し、職員席を追加配置する改修を行いました。今回の改修は、審議における行政側との連携をよりスムーズにし、活発で充実した議論を行える環境を整えることを目的としています。

今後とも、開かれた議会運営を行ってまいります。

議長 齊木 一三
副議長 仙田 基一
委員 宮川 井田 王
委員 飯田 正英
委員 松本 敏子
委員 社本 佳七

発行責任者

議会広報委員会

委員長

委員長

委員長

藤松 社飯宮酒仙
田本本田川井田
敏佳與正基一王
英子七志英平一



みなさまのお声を
お聞かせください

議会だよりをより充実させるためご意見ご感想を
お寄せください。

議会事務局 Email : gikai@town.oguchi.lg.jp
FAX : 0587-95-1454

おおぐち議会だより No.250
令和8年10月23日発行

16

9月定例会 No.250

令和8年10月23日



発行／大口町議会 編集／議会広報委員会
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目15番地
TEL (0587) 95-1702(直通) FAX 95-1454
議会だよりは再生紙を使用しています。